



「中学生の議会体験」で質問をする進明中学校2年 伊藤 愛さん

12月 定例会 各会計決算を認定

12月定例会は、12月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。今定例会では、9月定例会において継続審査となっていた平成19年度各会計歳入歳出決算の認定にかかる議案2件のほか、平成20年度一般会計補正予算、人事案件など、市長提出の議案13件、報告1件を審議した結果、議案はいずれも原案どおり認定、可決、同意し、報告1件は報告どおり承認しました。

さらに、請願については、9月定例会において継続審査となっていた請願1件を審議した結果、不採択とすることに決定しました。

また、議員提出の議案「道路整備に必要な財源の確保に関する意見書について」及び「子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書について」の2件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。なお、意見書については関係機関に提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を20人の議員が行い、24日、予定した日程を全部終え閉会しました。

中学生が議会を体験

本会議開催中の12月8日から10日の3日間、議場において「中学生の議会体験」を開催しました。

これは中学生の皆さんに市議会の役割や仕組みを正しく理解し、自分が住んでいるまちを身近に感じてもらうことを目的としており、今回は進明中学校と明道中学校の2年生267名が本会議（一般質問）を傍聴しました。

なお8日、9日の本会議の休憩時間には、両中学校の代表者6名が日ごろ、市政に対して疑問に思っていることを中学生の視点で質問し、市長を初め関係部長等がわかりやすく答弁しました。

なお、質問者名、各質問項目については8ページをご覧ください。

INDEX

【主な内容】

1	12月定例会の概要
2	主な議案
3	委員会審査
4-5	一般質問
6	予算特別委員会
7	議会日誌
7-8	議案等の審議結果
8	行政視察報告

平成19年度 一般会計・特別会計決算総括表 (単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	101,098,382,323	100,512,812,820
特別会計	国民健康保険	22,610,810,001
	国民健康保険診療所	34,922,349
	老人保健	26,902,077,925
	介護保険	16,515,498,507
	交通災害共済	40,265,521
	競輪	13,950,319,271
	簡易水道	385,069,645
	宅地造成	6,916,813,662
	美山森林温泉	115,461,798
	中央卸売市場	761,741,554
	駐車場	564,348,285
	集落排水	1,493,700,069
	地域生活排水	217,642,720
	福井駅周辺整備	1,223,251,195
	合計	192,830,304,825

平成19年度 企業会計決算総括表 (単位：円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	7,337,949,543	7,239,217,586	98,731,957
	資本的収支	13,317,152,832	15,632,162,998	△2,315,010,166
ガス事業	収益的収支	3,530,162,952	3,726,658,717	△196,495,765
	資本的収支	427,346,540	1,043,432,044	△616,085,504
水道事業	収益的収支	5,217,437,720	4,809,815,392	407,622,328
	資本的収支	3,698,335,574	5,015,069,044	△1,316,733,470

- 収益的収支：(料金収入等) - (サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支：(企業債等) - (建設改良や企業債<元本>償還費など)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補ってしています。
- 消費税を含む金額です。

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成19年度各会計(一般特別企業)歳入歳出決算の

認定について審査するため、10月1日から3日、及び6日の4日間 にわたり委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会計決算の認定についていずれも原案どおり認定しました。(議案名は7頁を参照ください。)

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、7頁に掲載しています。

一般会計補正予算

今回の補正予算は、福井鉄道福武線再建支援事業、児童クラブ設置促進事業のほか、生活保護世帯の増加に対応するため、生活保護扶助費を追加計上するなど、一般会計で6億2,518万9千円を増額するもので、補正後の予算額は総額2,063億5,124万5千円となります。

条例等

福井市簡易水道等給水条例の一部改正について
旧越廼村給水区域における簡易水道の料金の算定及び徴収方法を上水道事業に一元化するものです。

福井市農業集落排水処理施設 の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について
越廼地区における排水処理施設の使用料の徴収方法を現行の福井市の方法に一元化するものです。

福井市公共下水道条例の一部改正について
下水道使用料について、納付及び徴収に関する規定を整備するものです。

福井市都市計画下水道事業 受益者負担に関する条例等 の一部改正について
下水道事業に係る受益者負担金等について、納付及び区域外流入に関する規定を整備するものです。

福井市特定地域生活排水処理施設条例の一部改正について
特定地域生活排水処理施設の使用料の算定及び徴収方法を公

共下水道事業に一元化するものです。

- 福井市市税賦課徴収条例の一部改正について
- 福井市中央卸売市場業務条例の一部改正について
- 福井市国民健康保険条例の一部改正について

以上3本は、関連法及び関連法施行令の一部改正に伴い、所要の規定の整備等を行うものです。

人事案件

教育委員会委員

平成20年12月21日をもって任期満了となる吉田順一氏の後任として、石原義紀氏を任命することに同意しました。

市会案(議員提出議案)

意見書の提出

- 道路整備に必要な財源の確保に関する意見書
- 子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

以上2本は、地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

委員会審査

各特別委員会、常任委員会の委員長報告から主な質疑等の要旨を紹介しします。

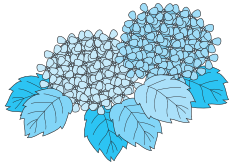
決算特別委員会

《一般会計》

問 地方交付税が減額された理由及び合併特例債の交付税措置の内容は。

答 合併特例債の交付税措置は後年度の返済に対して措置される。利子分については平成18年度発行の合併特例債分から平成19年度の交付税措置に入っており、元金分については償還が始まる来年度ぐらいいから交付税に反映してくると考えている。

また、地方交付税は必要な経費の積み上げである基準財政需要額と、収入額の積み上げである基準財政収入額の差額分が交付されるが、基準財政需要額は平成18年度と同程度なのにに対し、法人税の増加や、市税収入が増加したことで、基準財政収入額が伸びたことが、交付税が少なくなったことに影響している。



《下水道事業会計》

問 企業債の発行残高は760億円にのぼっているが、近年借り換えはどの程度なのか。

答 平成19年度では50億円程度、平成20、21年度では60億円程度、3年間で合計110億円程度の借り換えを実施する予定である。一部の利率は確定していないが、仮に平成33年度までの借り換え後の利率を2%として計算すると、約26億6千万円の利子軽減になる。

行財政改革特別委員会

《今後の公社の方向性》

問 福祉公社の訪問介護事業は、今後も周辺部を中心とした利用者のために継続していくとのことだが、将来的には民営化するのか。

答 今後、民間事業者のノウハウも蓄積され、対応も進んでいくと考えられるので、そう判断される時点で検討していきたい。ただし、民間事業者の経営が成り立たない部分は行政が対応すべきと考えている。

子育て・青少年育成等対策特別委員会

《公立保育園の定員移譲に係る事業者募集》

問 今回の募集によって民間事業者からの提案がなかった場合は、公立保育園として運営していくのか。

答 今回の民間事業者への公立保育園の定員移譲は、18園を対象としているが、18園すべての定員を民間移譲することはない。今回の募集による民間事業者からの提案内容を見極めながら、定員増減や廃止すべき保育園、存続すべき保育園を明確にし、今後の役割について検討していきたい。

農林水産業振興対策特別委員会

《認定農業者、集落営農組織》

問 認定農業者、集落営農組織の経営状況及び今後の方向性はどのようになっているのか。

答 水田経営所得安定対策に加入している組織の平成19年度の収支計算書によると、全ての組織の収支がマイナスというわけではなく、組合員に配当を出す組織もある。今後は複数の集落営農組織から聞き取りをして方向性、対策を打ち出していく。

県都活性化対策特別委員会

《福井駅西口中央地区市街地再開発事業》

要 Point 再開発ビル内に市有施設を設けることは大きな方向転換であり、議会としても議論する必要がある。そのためには、他の施設も含めた全体的な提示と、その施設が賑わいの創出にどう寄与するのか、経費がどの程度必要なのか、財源も含め、詳細な情報の提示をしてほしい。

総務委員会

《福井市市税賦課徴収条例》

問 今回の一部改正は、県や他の市町と同じ内容なのか。

答 県では既に9月定例会で県税条例の改正をしており、本市では、県民税と市民税を住民税として同時に徴収していることから、今回の改正案は県の条例にあわせた内容となっている。

建設委員会

《福井鉄道福武線再建支援事業》

問 鉄道用地を無償貸与することだが、将来、福井鉄道株式会社の経営が黒字に転じた場合は、逆に地代を求めるとも考えられるのか。

答 鉄道用地の無償貸与は、地域公共交通総合連携計画に基づく鉄道事業再構築事業を実施するための条件であることから、地代を求めることはできない。仮に経営が黒字に転じた場合は、補助部分について再検討する。

経済企業委員会

《福井市中央卸売市場業務条例》

問 卸売委託手数料の率の設定により、卸売業者の経営難の際、本市が是正できる仕組みを設けるとあるが、どのようなものを考えているのか。

答 状況により、具合の悪い部分があれば市から改善するように促していく。常に卸売業者の経営状況に気を配りながら市場の運営に当たりたい。

教育民生委員会

《生活保護扶助費》

問 本市の生活保護の申請状況は。

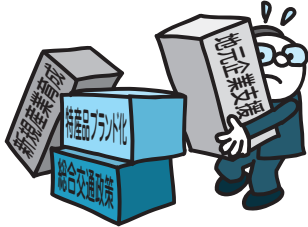
答 今年度は11月末現在で140件の申請中、130件について生活保護扶助費の支給を開始している。なお、残りの10件は審査の段階で、所得が国の基準を上回るなどの理由により、生活保護に該当しないと判断した。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、12月8日から10日の3日間、20名の議員が一般質問を行いました。（※ 議員名の前に付いている番号は質問順）（敬称略）

① 稲木 義幸

- 1 福井市の財政について
- 2 特産品のブランド化について
- 3 地元負担金が必要な事業について
- 4 総合交通政策について

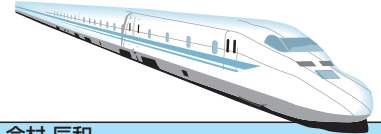


② 石川 道広

- 1 市長就任1年を目前にして、成果と課題及び新たな決意について
 - (1) 「希望と安心のふくい新ビジョン」達成度及び課題
 - (2) 平成21年度当初予算編成における東村カラー
- 2 公共施設の民間委託及び指定管理者制度導入について
 - (1) 検証及び費用対効果
 - (2) 委託料更新
- 3 高額療養費申請手続について
 - (1) 高額療養費支給申請書の郵送
- 4 耐震改修について
 - (1) 保育園、児童館、児童クラブ、子育て支援センター
- 5 市営住宅の入居に関する収入基準について
 - (1) 公営住宅法施行令改正
- 6 情報通信基盤整備事業について
 - (1) ケーブルテレビ未提供地域

③ 野嶋 祐記

- 1 中心市街地活性化について
 - (1) 北陸新幹線
 - (2) 福井鉄道福武線・えちぜん鉄道三国芦原線の相互乗り入れ
 - (3) 福井駅周辺土地区画整理事業
 - (4) 福井駅西口中央地区市街地再開発事業
- 2 財政改革について
 - (1) 経済情勢の悪化に伴う影響
 - (2) 財源確保と雇用対策

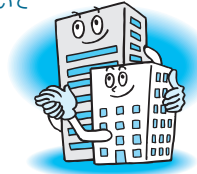


④ 鳥川 由美子

- 1 新型インフルエンザ対策について
 - (1) 関係機関との合同訓練
 - (2) 小・中学校の予防体制
- 2 地上デジタル放送対策について
 - (1) 公共施設・学校の移行計画
 - (2) 高齢者・障がい者へのサポート
- 3 女性サポート・プランについて
 - (1) 「健康パスポート」の実現
 - (2) 妊産婦健診の無料化
 - (3) DV相談窓口

⑤ 青木 幹雄

- 1 都市計画マスタープランについて
- 2 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について
- 3 防火機器の普及について



⑥ 今村 辰和

- 1 足羽川ダム建設に伴う、池田町水没対象地区住民の移転について
- 2 バイオマスタウン構想について
- 3 福井市英霊顕彰奉賛会の設立について



⑦ 下畑 健二

- 1 定額給付金について
- 2 中小企業支援について
- 3 子どもの携帯電話利用について
 - (1) 学校裏サイトの現状
 - (2) 情報モラル教育の充実
 - (3) 保護者向け「セーフネットインストラクター養成講座」の開催

⑧ 吉田 琴一

- 1 福井競輪事業について
- 2 住民基本台帳ネットワークシステムの現況と住民基本台帳カードの普及について
- 3 介護報酬の改定に向けた本市の対応策について
- 4 福井鉄道福武線の駅新設計画の対応について

⑨ 堀川 秀樹

- 1 有害鳥獣(イノシシ)及び耕作放棄地解消対策について
- 2 地域猫について
- 3 観光戦略的福井空港利活用について
- 4 西口再開発ビルについて
 - (1) 福井市民福祉会館移転
 - (2) 商店街の方向性



⑩ 奥島 光晴

- 1 浜町界限(足羽川、足羽山公園)の振興策について
- 2 教職員の精神性疾患の対策について
- 3 子どもに対する国民健康保険被保険者資格証明書について

⑪ 浜田 篤

- 1 原子力発電所について
- 2 市場問題について
- 3 観光振興について
- 4 市町村合併について



⑫ 巳寅 令子

- 1 環境政策について
 - (1) 環境ISOの推進
 - (2) エコイベントふくいの推進
- 2 教育について
 - (1) 「教育ウィーク(学校公開週間)」の成果と課題
 - (2) 学校図書館の充実
 - (3) 消耗品費等の充実

⑬ 後藤 勇一

- 1 地域福祉の強化について
 - (1) オアシスプラン
 - (2) 福井市地域福祉計画
 - (3) 行政の地域福祉に対する役割
- 2 地区コミュニティの活性化について
 - (1) 公民館事業
 - (2) 市民活動団体等と公民館の連携
 - (3) 学校活用

⑭ 峯田 信一

- 1 福井市における上下水道について
- 2 第4期介護保険事業計画について
- 3 国際交流について
- 4 「ふるさと偉人館」について



⑮ 高田 訓子

- 1 福井市第3次男女共同参画基本計画について
 - (1) 総括と平成20年度の取り組み
 - (2) 重点課題の推進
- 2 不死鳥のねがい(福井市市民憲章)について
 - (1) 今後の推進方法
- 3 中心市街地のまちづくりについて
 - (1) 情報発信拠点とサテライト施設
 - (2) 福井市民福祉会館の移設
 - (3) まちづくりへの市民参画
 - (4) 庁内における機構改革

⑯ 鈴木 正樹

- 1 経済危機について
 - (1) 雇用問題・派遣切り問題
 - (2) 中小企業者対策
 - (3) 福祉灯油
- 2 国民健康保険事業について
 - (1) 無保険の小・中学生への対応
 - (2) 国民健康保険税滞納者への対応
- 3 介護保険事業について
 - (1) 介護保険料
- 4 雇用促進住宅について

⑰ 堀江 廣海

- 1 市町村合併後における清水地域の振興策について
 - (1) 農業振興
 - (2) 工業振興
 - (3) 都市計画マスタープラン見直し
- 2 全域交通ネットワークの構築について
 - (1) 東西幹線軸
 - (2) 地域拠点等の交通結節点
 - (3) 地域の公共交通ネットワーク

⑱ 塩谷 雄一

- 1 環境事業について
 - (1) エネルギー政策
- 2 障害者雇用について



⑲ 山口 清盛

- 1 福祉政策と福井市社会福祉協議会について
 - (1) 福井市地域福祉計画と福井市社会福祉協議会との関係
 - (2) 福井市社会福祉協議会の目的及び役割
 - (3) 福井市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会との関係
 - (4) 福祉委員の役割
- 2 農業行政と活性化について
 - (1) 農業活性化
 - (2) 食の安全についての取り組み
 - (3) バイオマスタウン構想

⑳ 西村 公子

- 1 来年度の予算編成について
- 2 後期高齢者医療制度について
 - (1) 資格証明書の取り扱い
 - (2) 健康診断の改善
- 3 公立保育園の民間委譲と保育施設の建てかえ、耐震改修について
- 4 福井駅西口中央地区市街地再開発事業について
- 5 福井市情報公開条例の改善について

団体で本会議の傍聴を希望される方は、事前に御連絡ください。

連絡先 議事調査課
TEL20-5510

一般質問要旨

福井市の財政状況

福井市の基礎的財政収支の現状はどうか。また、市の財政見通しはどうか。

基礎的財政収支を示す指標のプライマリーバランスは、地域振興基金の創設という特殊事情、フェニックススタジアム建設や至民中学校の移転などの大規模事業が重なった結果、市債の発行額が公債費を大きく上回り、マイナスとなった。

健全財政計画に従い、中・長期的視点に立ち健全な財政構造の構築に取り組み、各種事業の推進を図る必要がある。

福井駅西口中央地区市街地再開発事業

事業認可申請までのスケジュールは、どのような行程で進めるつもりか。

ホテル関連の企業との協議に時間を要し、おくれが生じているが、事業全体のスケジュールについて西口駅前広場の整備にできる限り影響を与えないようにしたい。

なお、12月定例会での議論の状況や、県が検討する時間などを考慮し、事業認可申請の時期についても見きわめていきたい。

バイオマスタウン構想

旧美山町において、木材の丸棒加工場があるが、今後どのようにバイオマスタウン構想に取り組むのか。

平成17年度に旧美山町においてバイオマスタウン構想を策定し、木質バイオマスに関する事業化に向けた検討がなされた。

その後、新福井市に引き継がれ、現在温暖化防止や、未利用木材の活用による林業の活性化等の観点から、木質ペレットの事業化への取り組みが重要と考えている。県内にも公共施設にペレットストーブを導入した自治体もあり、参考にして調査研究に努めていく。

定額給付金

定額給付金についてどう考えているのか。

本市では定額給付金は総額で約41億円になる。市民の消費拡大等につながり、地域の活性化に寄与すればと考えている。

高所得者への給付は、所得制限を設けない方向で検討しているが、最終的には近隣自治体との調整を図って、決定したい。

競輪事業の包括的民間委託

来春の包括的民間委託導入について見送る発表があったが、さらに収益を伸ばすため、競輪事業の活性化に対する市長の決意は。

仮に包括的民間委託を導入しても、現在の景気状況では期待どおりの収益が見込めず、現段階での包括的民間委託は実施しない。引き続き直営のままで、少しでも長い事業の継続を目指して最大限の努力をしていきたい。

教職員の精神性疾患の予防

市として教職員の精神性疾患の予防にどのような対策を講じているのか。

管理職が定期的に教職員と面談を行い、教職員の健康管理に留意し、日常勤務において過度のストレスを生まないよう取り組んでいる。

また、保護者からの無理な苦情や要求に対し、学校問題解決支援チームをつくり、関係各課、関係機関、弁護士とも連携し対応している。

現在策定中の福井市教育支援プランの中でも事務の簡素化を含め、教職員のバックアップ機能の整備を検討している。

オアシスプラン2009

オアシスプラン2009（遂がまとまり、11月に各地区で市民説明会を開いたが、その中で市民から出された意見をどう反映させていくのか。

自治会型デイホームのあり方について、現場の実情を踏まえて見直しを図る必要があるといった意見が多数あり、参加者の代表や自治会型デイホームの専任職員などを含めた検討委員会を新たに設けることとした。

産業振興

旧清水町の産業振興への取り組みをどう評価し、今後の産業政策にどう生かしていくのか。

清水地域の工業団地は市南西部の産業拠点であり、本市の活力と魅力あふれる産業づくりに対し、大きく貢献している。政策的投資の集中や立地企業への対応など、旧清水町の積極的な企業誘致の姿勢を継承

（仮称）一乗谷あさくら水の駅

自然豊かな田園地域に田んぼやビオトープなどをつくる必要性はなく、事業の凍結、もしくは中止をするべきではないか。

この事業は、足羽川頭首工と関係農業用水が持つ地域用水機能と相まって、自然環境、生態系の保全や農業体験を含めた農業文化の伝承など総合的な学習機能を持つ。また、多くの観光客の利用が予想され、本市をアピールし、イメージを高める効果が見込める。

今後とも、全体計画に沿って、着実に事業を進行させていきたい。



予算特別委員会

委員長報告の中から主な質疑等の要旨を紹介します。

委員の変更

5名の委員から辞任願が提出されたため、8日の本会議において新たに5名の委員の選任を行いました。

【辞任】

峯田 信一 堀江 廣海
鈴木 正樹 稲木 義幸
栗田 政次 (敬称略)

【選任】

下畑 健二 松山 俊弘
西村 公子 中谷 輝雄
田辺 義輝 (敬称略)

審査結果

12月2日の本会議において予算特別委員会に付託された一般会計補正予算及び市政上の重要案件について審査するため、12月16日及び17日に委員会を開催しました。審査の結果、付託された予算議案については、原案どおり可決しました。
(議案名は7頁参照)

主な質疑

《福井駅西口中央地区市街地再開発事業》

問 再開発ビルへのホテル誘致の断念により、市民福祉会館を移転することだが、

これまでとは大きく方向転換し市有施設を設置する理由は何か。

答 再開発事業は西口駅前広場整備とも関連することから、事業を推進することが最優先であること、施設規模を大幅に縮小することは、保留床の単価を引き上げることになり、事業の採算性からも難しいことなどから、市が新たに床を購入したい。

問 市民福祉会館の設置によって事業のコンセプトでもある賑わいを創出できるのか。

答 少子・高齢化に伴い、今後の賑わいの創出の中心は高齢者や団塊の世代の方々が担っていくと考えており、これらの方々がまちなかに出てくる機会を設けることは非常に重要である。能楽堂についても、無形文化財を含めた文化・伝統芸能の拠点として、また幅広い世代の利用も考慮することで、県外客や市民も含め福井の歴史・文化を知る機会にもなる。なお、賑わいはアオツサや福井西武なども含め、中心市街地全体で創出するものと考えている。

《福井四ヶ浦線》

問 白滝町と滝波ダムまでの区間が特に道幅が狭く、カーブが多いため危険であるが

改良の予定は。また、皇中町から国道305号までの区間は、冬季間、スリップなどにより排水路に転落する車が多いため、排水路に蓋をするなどの防止策が必要ではないか。

答 福井四ヶ浦線の管理者である福井県は、毎年、優先順位を定め危険箇所から工事を行っているが、指摘のあった箇所については早期解決に向けて県に働きかけていきたい。

《子育て支援の充実》

問 現在、子育て支援に関して、どのような事業に、重点的に取り組んでいるのか。

答 平成16年3月に策定した福井市次世代育成支援対策推進行動計画のもと、7つの基本柱に沿った164の事業に取り組んでいる。特に近年は保育の充実のほかに、妊婦健診の充実、各保育園での一時保育の実施、治療中の児童を指定病院で一時的に預かる乳幼児健康支援サービス事業などを実施している。

《アダプト制度の導入》

問 周知の方法、対象件数、委託先等についての考え方は。

答 現在、来年度の実施に向けて、他市の状況を調査し、活動内容などについて関係課と協議している。この制度の導入が決まり次第、市政広報等を通じて情報発信する。なお、初年度には約10公園を対象とし、

委託先として、市民団体や企業などの幅広い分担を考えている。活動に必要な物品としてごみ袋などの消耗品の支給、標示板の設置などの支援を行っていききたい。

《教育問題》

問 子供たちの理科離れが進む中での取り組み方は。

答 本市の場合、小・中学校とも理科の好きな子供の割合が高くなっており、理科離れの傾向は見られない。今後も体験学習などを通して、理科について興味、関心を持って育つよう努めていきたい。

《農業の諸問題》

問 JA福井市の「喜ね舎」などの大規模直売所の現状及び小規模直売所やインショップの増加に関する本市の取り組み方は。

答 大規模直売所については、販売額で年々約10%ずつの順調な伸びを示している。また、現在、直売所数は小規模直売所やインショップも含め、市内に21ヶ所あるが、食育推進計画の中で平成23年度までに25ヶ所という数値目標を定めており、今後とも直売所の整備を推進していきたい。

《契約栽培》

問 契約栽培の拡大の見通しはあるのか。

答 下市町で、ハウス35棟を建て、年間70tの軟弱野菜を生産する新たな取り組みが

始まった。また、三里浜のらっきょうや白方町のさつまいもについても取り組みが進んでおり、特に白方町のさつまいもは、風味、食感がよく、糖度も高いことから、今後、福井の特産品「越前金時」として出荷できる体制づくりに取り組んでいきたい。

《区道、農道、農業用排水路の整備》

問 地元の負担割合はどのくらいか。

答 区道は、上限80万円として4割を補助、残りを地元が負担している。また、農道、農業用排水路は、市単独事業においては55%、中山間地域においては50%を地元が負担している。

《福井市勤労者生活安定資金融資制度》

問 厳しい経済情勢の中、融資利率を引き下げることができないのか。また、大学入学金等に利用する場合の、融資限度額を引き上げることが考えられないのか。

答 融資利率の決定については、日本銀行の長期プライムレートの基づいて県下一律で算出される仕組みになっている。また、限度額は昭和59年の制度開始以来、変わっていない。利用者が利用しやすいよう、利率の引き下げと限度額の引き上げについて、各市町と協議し、県とも協議していきたい。

請願・陳情等の審議結果

(12月定例会)

請願・陳情番号	件名	審議結果	
請願第7号	後期高齢者医療制度に関する請願	12月24日	不採択

行政視察報告

10月から11月にかけて議会運営委員会、各常任委員会及び各特別委員会が先進地を視察しました。各委員会の視察先及び調査項目については次のとおりです。

委員会名	視察先	調査項目	
議会運営委員会 11/18～20	一宮市 (愛知県)	「議場に質問席を設けた経緯と本会議における質問の実際について」、「議会運営における改革の取組みについて」	
	諏訪市 (長野県)	「質問席設置前後の変化と課題について」、「議会運営における改革の取組みについて」	
	彦根市 (滋賀県)	「一問一答制導入の影響について」、「議会運営における改革の取組みについて」	
建設委員会 10/22～24	益田市 (島根県)	「益田川ダム(穴あきダム)について」	
	北九州市 (福岡県)	「下水道処理施設における消化ガスの利用及び汚泥の活用について」	
	掛川市 (静岡県)	「掛川市の幼保再編計画について」、「掛川市立乳幼児センター・すこやかについて」	
	袋井市 (静岡県)	「中遠クリーンセンターについて」	
教育民生委員会 10/22～24	豊橋市 (愛知県)	「こども未来館ここここについて」	
	川崎市 (神奈川県)	「市税及びその他手数料等の滞納対策について」	
	富士市 (静岡県)	「富士市コールセンターについて」	
総務委員会 11/5～7	浜松市 (静岡県)	「総合窓口サービスについて」	
	豊岡市 (兵庫県)	「農家民宿と市民農園による地域活性化の推進について」、「木質バイオマス・菜の花バイオマスまちづくりプロジェクトについて」、「環境創造型農業について」	
	篠山市 (兵庫県)	「丹波のブランド化による観光地づくりについて」、「兵庫・丹波篠山デカンショ特産市の開催について」	
経済企業委員会 11/5～7	姫路市 (兵庫県)	「姫路城を中心とした景観整備と都市型観光地づくりについて」、「活力あるまちなか商店街づくり促進事業について」、「中心市街地商店街空き店舗対策事業について」	
	子育・青少年育成等対策特別委員会 10/27～28	三原市 (広島県)	「大和認定こども園について」
	福山市 (広島県)	「地域安全マップづくりについて」、「まなびの館ローズコムについて」	
行政改革特別委員会 10/28～29	東大阪市 (大阪府)	「給食センターの委託について」	
	堺市 (大阪府)	「指定管理者による施設の管理運営に関する評価について」	
農林水産業振興対策特別委員会 10/28～29	魚津市 (富山県)	「水産業を活かしたまちづくりについて」	
	高山市 (岐阜県)	「棚田の復旧を通じた都市住民との交流について」、「生ごみの再資源化と農業の活性化について」	
県都活性化対策特別委員会 11/11～12	広島市 (広島県)	「横川駅前交通結節点改善事業について」	
	岐阜市 (岐阜県)	「総合交通政策(バス政策中心)について」	

「中学生の議会体験」代表者質問内容

◆12月8日(進明中学校)

1. 三橋 智也 君 「交通について」
2. 伊藤 愛 さん 「通学路や校区の環境について」
3. 玉村 慎 君 「中心市街地の整備について」

◆12月9日(明道中学校)

1. 長谷川 健太 君 「JR福井駅前中心街の再開発について」、「市町村合併について」
2. 村瀬 康太 君 「道州制について」、「高齢者福祉について」、「ふるさと納税について」
3. 平野 有望佳 さん 「ボランティアについて」、「男女共同参画について」、「まちづくりについて」

インターネットで 会議録が ご覧になれます!

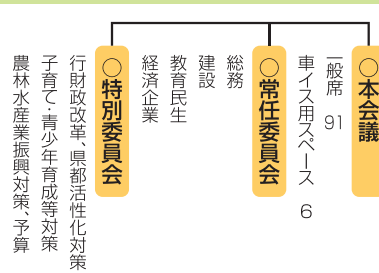


福井市議会の平成8年以降の本会議録及び
平成18年6月以降の委員会類末書をホームページでご覧いただけます。
市議会のホームページのアドレスは次のとおりです。

<http://www.city.fukui.lg.jp/d570/sigikai/index.html>

お問い合わせ
議会事務局議事調査課
TEL 076-233-1100
FAX 076-233-1101

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ふくチャンネル29(福井ケーブルテレビ:アナログ29ch、デジタル529ch)、美山地区はこの国ヶ1ケーブルテレビ:アナログ9ch、デジタル92ch)で生中継及び録画放映されます。



傍聴のできる会議

傍聴をしてみませんか。

次回は
3月定例会です。
(日程が決まり次第ホームページでお知らせします。)

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局にお問い合わせください。

請願・陳情書の提出について